

消えた自称詞～通時的な日本の文献から探る～

37班:池辺葵 大上郁奈 倉田季 筒井はる

Abstract

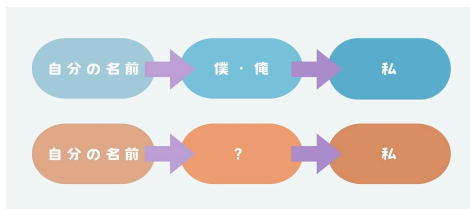
Despite there are various First Person Pronouns in Japanese, First Person Pronouns for females are fewer than for males. However, “*Warawa*”, First Person Pronouns for females, was presented in the past. Then, we expected “*Warawa*” has not been used, so we will research “First Person Pronouns used by female novelists in the past” and “status of anime characters using “*Warawa*” in present” to prove the disappearance of “*Warawa*”.

要約

日本語には多様な自称詞があるのにも関わらず、男性用自称詞に比べ女性用自称詞は非常に少ない。しかし過去には女性用自称詞「妾(ワラワ)」(以下、「妾」とする)が存在していた。そこで、「過去の女性作家が作品内で用いていた自称詞」及び、「現在「妾」を使用しているキャラクターの身分」を調査することで現在使われなくなった理由に「敬意逡減の法則」が関係していることを証明する。

1.はじめに

多様な自称詞(自分を示す人称代名詞)がある日本語において、男性には「僕・俺」など特有の自称詞が存在するのに対し、現在使用される女性特有の自称詞は存在しない。過去に使われていた女性用自称詞「妾(ワラワ)」が現在では常用されていないことに疑問を持った。本研究では、『自称詞「僕」の歴史』で唱えられた、時代の経過とともに言葉のもつ敬意がすり減り、敬意のない言葉、更には乱暴で使いにくい言葉になるという「敬意逡減の法則」に従って妾が消滅したという仮説を元に、書き言葉における女性用自称詞が消滅した理由を明らかにする。



(上図は男女による自称詞の変化。女子には僕、俺に該当する自称詞がないことを表している。)

2.研究手法

研究にあたり、過去の会話の中で使われていた自称詞を調査するのは困難であるため、文献調査を行う。

《調査①》

明治時代の女性作家の作品と、大正～昭和初期の女性作家の作品内の一人称をそれぞれ調査し、比較する。

《調査②》

謙讓性を失った例として、現在「妾」を自称詞としているキャラクターを探し、その身分を調査する。

《調査③》

「敬意逡減の法則」以外の可能性を調査する。

3.結果

《調査①》

『女性作家集 新日本古典文学大系 明治編』内に収録されている全9作品中、3作品で「妾」の記載

を確認できたのに対し、大正～昭和初期の女性作家である岡本かの子、尾崎翠、林芙美子らの計40作品ほど調査したところ、「妾」の記載は確認されなかった。

《調査②》

現在「妾」が使われている例として、ONE PIECEのボア・ハンコック、おじやる丸のオカメ姫などがあつたが、ハンコックは作中登場するアマゾン・リリーという国家の皇帝であり、オカメ姫は貴族であるおじやる丸のいいなずけであるので、身分が高いことがわかる。そのため、彼女等が使用している「妾」に謙譲性はない。

《調査③》

1885年、『刑法司法以降妾ヲ戸籍内ニ登録セシモノハ之ヲ除却セシム』という法律によって、めかけ(愛人)を戸籍に登録することが禁止された。また、「妾」は「めかけ」とも読めることから、『女学雑誌』『女新聞』『貴女の友』などによって妾の文字の使用についての批判、新たな一人称の提案がなされた。

4.考察

調査①②より、自称詞「妾」は現代では身分の高いキャラクターに使用されるような尊大なイメージをもち、時代を経ることに使用されなくなっているため、「敬意逡減の法則」がはたらいたことが考えられる。また、調査③より、妾が法律により禁止されたため、「妾」に対する印象が悪くなり、使用されなくなったと考えられる。

5.結論

敬意逡減の法則に加え、妾(めかけ)を禁止する法律の制定、それによる世間のイメージの変化によって妾は使用されなくなったことがわかった。また、その他の使用されなくなった自称詞が消滅した過程を調査することにより過去と現在の日本語のあり方の違いについての研究を深めていくことを今後の展望としていく。

6.参考文献ならびに参考Webページ

友田健太郎『自称詞〈僕〉の歴史』河出新書,2023年
『女性作家集 新日本古典文学大系 明治編』岩波書店,2002年
『ちくま日本文学全集』筑摩書房,1991年
『大辞泉』小学館,1995年
『刑法施行以降妾ヲ戸籍内ニ登録セシモノハ之を除却セシム』1885年
国立公文書館デジタルアーカイブ<https://www.digital.archives.go.jp/>
goo辞書 <https://dictionary.goo.ne.jp>